

# 工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

2019.10.8

9号

令和元年5月27日事故発生

### 【被害】

- ・断水 1.7h  
(ループ状(両送り)のため実害無)
- ・信号機線断線 1.5h  
(車両用、歩行者用信号機不灯  
その間交通誘導員が交通整理)

- ・工事中断 7日間
- ・公衆損害で減点

試掘は、人力により慎重に掘削すべきでした。

事故発生時、直ちに監督員に報告すべきでした。

①水道管D25  
(不使用)

②水道管D25  
(損傷)

③信号機線  
(損傷)

ボックスカルバート  
計画箇所

当初掘削範囲

追加掘削範囲

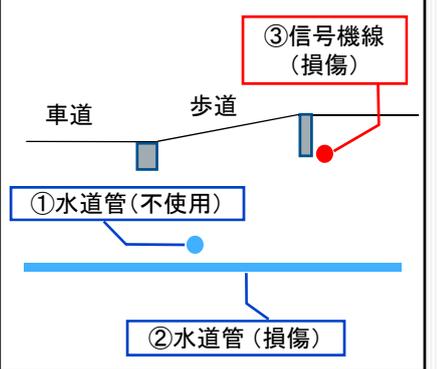
信号機線(破損後)



信号機線(復旧後)



断面図



### 【事故の概要】

- 道路改良工事でのボックスカルバート設置前の埋設物確認の試掘現場
- 埋設物協議等で下記を確認
  - ・NTT管は、本施工箇所内に埋設されていない(NTTとの現地立会で確認)。
  - ・市の水道管が1本あり平面図で位置はわかるが深さ不明。(試掘して管現出時点で市が立会うこととなる。)
- 試掘により埋設管3本①②③の順で現出し、市に立会依頼。
- 3本の中身は不明であったものの、②L字管のボックス設置予定側の配管状況を確認したいとの思いから市担当者の到着前にバックホウで追加掘削して破損。漏水したが速やかに復旧したため事故扱いしないと思い本件について県に報告せず。
- 残り2本①③が水道管か市担当者も判断できなかったが、事前に他の埋設物を確認できなかったことと管材が鋼材であったことから水道管と思い込み、使用中ならボックス設置時に移設を要するため確認しておきたいとの思いから、県の監督員に報告せず切断部をすぐ補修できるよう準備した上で切断したところ、①が水道管(不使用)、③が信号機線(損傷)と判明。

**【再発防止策】は、裏面参照⇒**

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故分類	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和元年 9月末現在 (前年同期)
	件数	0件(1)	0件(0)	15件(16)	15件(17)	

**令和元年9月30日までで「死亡事故ゼロ」1291日を達成しました！**

静岡県交通基盤部建設支援局工事検査課 054-221-3652

## ＜再発防止策＞

【本事故における問題事案毎の再発防止策・啓発事項について】

＜問題事案＞

① 水道管破損

試掘は下記条件で行う。

- ・作業状況を確認する監視員1名配置
- ・必要な範囲を確認するまで人力掘削

(試掘は、管を破損しないよう細心の注意を払って行う)

② 事故報告しなかったことについて

事故発生時には安全確保や応急処置の措置をとると共に、復旧時間の長短等には関係なく、直ちに関係機関への通報、監督員への連絡を行う。

③ 管理者不明の埋設管の取扱い

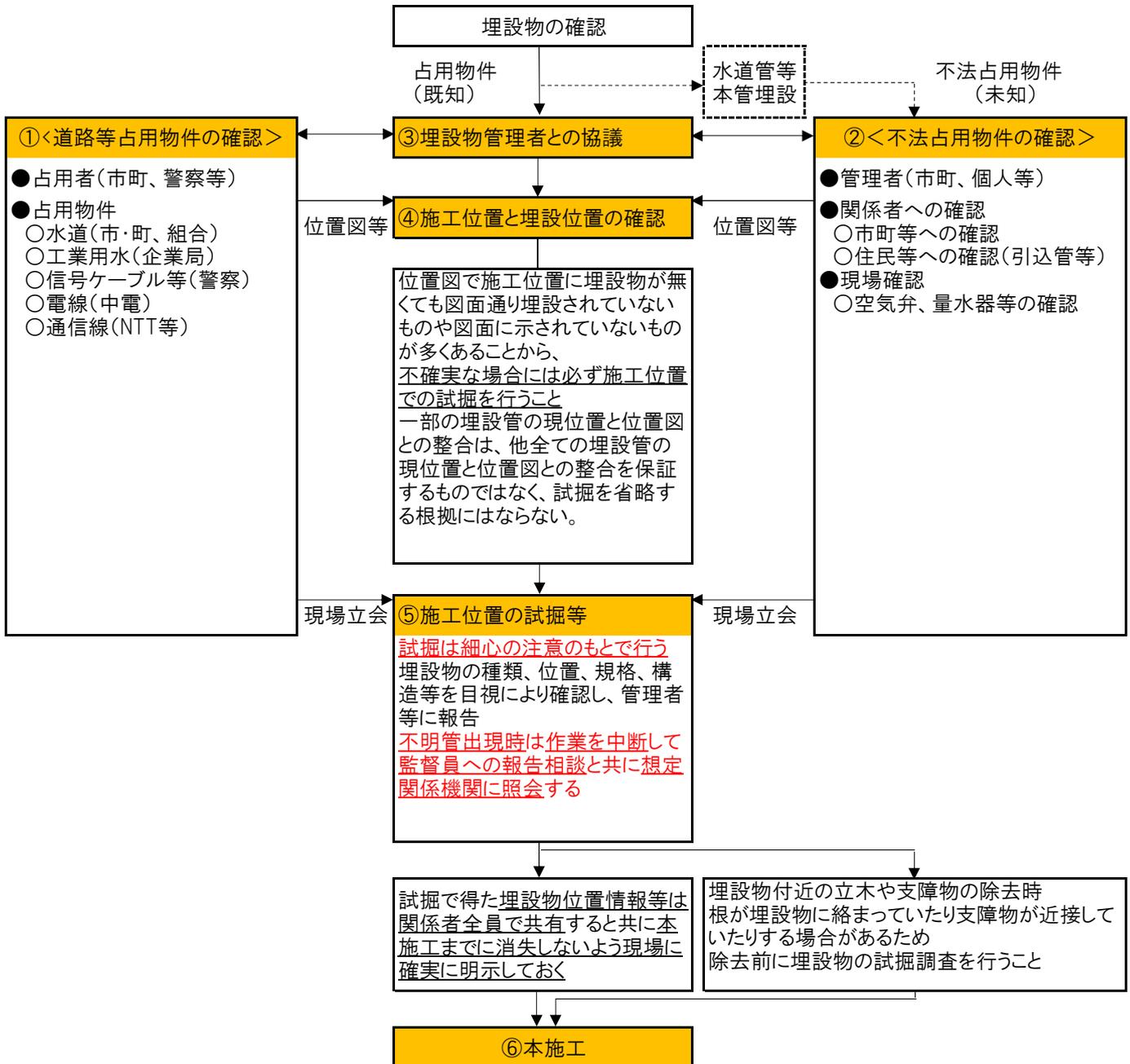
不明管出現時には、作業を中断して監督員に報告相談すると共に、想定される関係機関に再照会を行う。

＜啓発事項＞

- 信号機を有する交差点での掘削作業時には、信号機線の埋設物件の有無を事前に確認すること。

### 道路等施工(掘削、杭打等)時の埋設物事故防止のための埋設物確認フロー(Ver.3)

本事案を踏まえ、ニュースレター8号掲載の埋設物確認フローVer. 2の追加修正を行いましたので、今後は、これを参考にしてください。



本ニュースレターの事案の事前確認手順を上記フローで確認すると  
⑤の対応に配慮が不足しており、事故につながった